



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社コンヴァノ 上場取引所 東
 コード番号 6574 URL <https://www.convano.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 壺井 成仁
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 中野 律（TEL）03-3770-1190
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,640	45.4	164	—	159	—	106	—	106	—	106	—
2021年3月期第3四半期	1,128	△38.9	△295	—	△299	—	△299	—	△299	—	△299	—
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
2022年3月期第3四半期	46.91		46.76		46.76		46.76		46.76		46.76	
2021年3月期第3四半期	△132.94		△132.94		△132.94		△132.94		△132.94		△132.94	

（参考）EBITDA 2022年3月期第3四半期 334百万円 2021年3月期第3四半期 △108百万円

（注）1. 当社グループは経営上の重要な指標としてEBITDAを用いております。

2. 2021年3月期第3四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期利益の計算から除外しております。

3. EBITDAの定義、計算方法につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,388	904	904	37.8
2021年3月期	2,406	789	789	32.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	2,390	47.9	100	—	100	—	60	—	60	—	円 銭 26.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年3月期3Q	2,268,160株	2021年3月期	2,250,260株
2022年3月期3Q	111株	2021年3月期	84株
2022年3月期3Q	2,265,468株	2021年3月期3Q	2,246,863株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料は、TNet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)におけるわが国経済は、昨年来の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により、経済活動は引き続き停滞しました。ワクチン接種が進み新規感染者数が減少に転じたものの、感染力の強いオミクロン株の世界的流行による影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属するネイル業界におきましても、コロナ禍による外出自粛等の影響により、非常に厳しい経営環境で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、一部商業施設内の店舗では臨時休業や時短営業を余儀なくされましたが、ジェルネイルの新たなメニューやデザインの導入に加えて、フットネイルキャンペーンやネイルデザインのスペシャルセールを実施するなど、新規顧客の獲得とリピーターへの移行促進及び客単価向上の取り組みが奏功し、全店舗で約2ヶ月間の臨時休業を実施した前年同期に比べて大幅な増収となり利益は黒字に転じました。

直営の店舗展開では、コスト削減及び生産性向上を図るため3店舗の統廃合を実施する一方、9月にファストネイルシャポー本八幡店(千葉県市川市)を新規出店しました。

昨年度末にスタートしたファストネイル・ロコモデルのフランチャイズ展開では、福岡県と静岡県に地域を拡大し、合計3店舗を新規出店しました。

商品展開では、昨年度末に立ち上げたD2Cブランド「CONST」第1弾商品のネイルセラムが好評を博すとともに、8月に販売を開始した第2弾商品のハンドセラムが売上を伸ばしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益は1,640百万円(前年同期比45.4%増)、営業利益は164百万円(前年同期は営業損失295百万円)、税引前四半期利益は159百万円(前年同期は税引前四半期損失299百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は106百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失299百万円)、当社グループが経営上の重要な指標としているEBITDA(※)は334百万円(前年同期は△108百万円)となりました。

※ EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ネイル事業

(店舗数)

ブランド名	地域	2021年3月31日	新規出店	統合・閉店	2021年12月31日
ファストネイル	関東	39(1)	1	—	40(1)
	東海	7	—	△1	6
	関西	4	—	△1	3
	中国	2	—	△1	1
	九州	1	—	—	1
	計	53(1)	1	△3	51(1)
ファストネイル・プラス	関東	3	—	—	3
ファストネイル・ロコ	関東	3	—	—	3
	東海	—	1(1)	—	1(1)
	関西	1(1)	—	—	1(1)
	九州	—	2(2)	—	2(2)
	計	4(1)	3(3)	—	7(4)
合計		60(2)	4(3)	△3	61(5)

(注) ()内はフランチャイズ店舗であり内数であります。

(新規出店、統合・閉店)

年	月	内容
2021	4	ファストネイル 広島本通店（広島県広島市中区）をファストネイル 広島パル コ店（広島県広島市中区）に統合し、閉店
		ファストネイル 江坂店（大阪府吹田市）をファストネイル 大阪梅田店（大阪 府大阪市北区）に統合し、閉店
	5	ファストネイル 名古屋伏見駅店（愛知県名古屋市中区）をファストネイル ア スナル金山店（愛知県名古屋市中区）に統合し、閉店
		ファストネイル ロコ 春日店（福岡県春日市）を新規出店
	6	ファストネイル ロコ 大名店（福岡県福岡市中央区）を新規出店
		ファストネイル ロコ ららぽーと沼津店（静岡県沼津市）を新規出店
9	ファストネイル シャポー本八幡店（千葉県市川市）を新規出店	

(業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	1,121	1,631	510
セグメント利益(△は損失)	△293	166	459

② メディア事業

(業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	9	11	2
セグメント利益(△は損失)	△2	△2	△0

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、591百万円となりました。これは主に、未収法人所得税等が33百万円減少した一方で、営業債権及びその他の債権が14百万円増加したことなどによるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、1,797百万円となりました。これは主に、使用権資産が55百万円減少した一方で、無形資産が59百万円増加したことなどによるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ18百万円減少し、2,388百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、1,119百万円となりました。これは主に、その他の流動負債が57百万円減少した一方で、未払法人所得税等が48百万円増加したことなどによるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、366百万円となりました。これは主に、借入金が50百万円、リース負債が37百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ132百万円減少し、1,485百万円となりました。

(資本)

資本は、四半期利益の計上などにより前連結会計年度末に比べ115百万円増加し、904百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、364百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は281百万円（前年同期は147百万円の支出）となりました。これは主に、減価償却費及び償却費170百万円、税引前四半期利益159百万円それぞれ計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は77百万円（前年同期比39百万円の支出増）となりました。これは主に、無形資産の取得による支出を60百万円計上したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は205百万円（前年同期は86百万円の収入）となりました。これは主に、リース負債の返済による支出を153百万円計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは2022年3月期の通期の連結業績予想を上回る利益を計上しておりますが、感染力の強いオミクロン株の感染拡大による営業制限等の影響が不透明な状況であることから、2021年8月12日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置きます。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響は、2022年3月末までに概ね改善するものの、コロナ禍前の水準まで回復するにはさらに一定の期間を要するものと仮定しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	364,942	363,739
営業債権及びその他の債権	133,436	147,263
棚卸資産	50,220	58,057
未収法人所得税等	33,330	1
その他の流動資産	23,018	22,087
流動資産合計	604,946	591,146
非流動資産		
有形固定資産	71,046	63,193
使用権資産	309,238	253,908
のれん	650,260	650,260
無形資産	491,724	550,814
その他の金融資産	148,874	149,448
その他の非流動資産	1,338	935
繰延税金資産	128,465	128,465
非流動資産合計	1,800,945	1,797,024
資産合計	2,405,891	2,388,170
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	45,783	46,283
借入金	630,000	620,000
未払法人所得税等	11,691	59,342
リース負債	169,893	144,281
その他の流動負債	305,315	247,992
引当金	3,280	873
流動負債合計	1,165,962	1,118,770
非流動負債		
借入金	250,000	200,000
リース負債	152,371	115,014
その他の非流動負債	12,396	13,999
引当金	36,063	36,758
非流動負債合計	450,830	365,770
負債合計	1,616,792	1,484,540
資本		
資本金	94,987	50,682
資本剰余金	659,283	2,864
利益剰余金	34,896	850,172
自己株式	△67	△89
親会社の所有者に帰属する持分合計	789,099	903,630
資本合計	789,099	903,630
負債及び資本合計	2,405,891	2,388,170

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	1,128,275	1,640,195
売上原価	1,044,946	1,045,027
売上総利益	83,329	595,169
販売費及び一般管理費	572,835	549,491
その他の収益	197,001	120,123
その他の費用	2,485	1,818
営業利益(△は損失)	△294,990	163,982
金融収益	1,515	490
金融費用	5,228	5,432
税引前四半期利益(△は損失)	△298,703	159,040
法人所得税費用	—	52,778
四半期利益(△は損失)	△298,703	106,262
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△298,703	106,262
四半期利益(△は損失)	△298,703	106,262
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)	△132.94	46.91
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)	△132.94	46.76

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益(△は損失)	△298,703	106,262
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	△298,703	106,262
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△298,703	106,262
四半期包括利益	△298,703	106,262

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2020年4月1日残高	92,708	658,376	251,680	△40	1,002,724	1,002,724
四半期利益(△は損失)	—	—	△298,703	—	△298,703	△298,703
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△298,703	—	△298,703	△298,703
新株の発行	1,772	643	—	—	2,415	2,415
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	64	—	—	64	64
所有者による拠出及び所有者 への分配合計	1,772	707	—	—	2,479	2,479
所有者との取引額合計	1,772	707	—	—	2,479	2,479
2020年12月31日残高	94,481	659,083	△47,023	△40	706,501	706,501

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2021年4月1日残高		94,987	659,283	34,896	△67	789,099	789,099
四半期利益(△は損失)		—	—	106,262	—	106,262	106,262
その他の包括利益		—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計		—	—	106,262	—	106,262	106,262
新株の発行		6,202	2,088	—	—	8,290	8,290
減資		△50,507	50,507	—	—	—	—
欠損補填		—	△709,014	709,014	—	—	—
自己株式の取得		—	—	—	△22	△22	△22
所有者による拠出及び所有者 への分配合計		△44,305	△656,419	709,014	△22	8,268	8,268
所有者との取引額合計		△44,305	△656,419	709,014	△22	8,268	8,268
2021年12月31日残高		50,682	2,864	850,172	△89	903,630	903,630

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	△298,703	159,040
減価償却費及び償却費	187,058	170,155
減損損失	2,190	—
株式報酬費用	64	—
金融収益	△1,515	△490
金融費用	5,228	5,432
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△48,302	△13,827
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,516	△7,837
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△12,134	500
未払消費税等の増減額(△は減少)	45,224	△66,836
未払給与の増減額(△は減少)	6,096	△8,275
未払賞与の増減額(△は減少)	△41,574	10,973
未払有給休暇の増減額(△は減少)	14,158	△14,361
資産除去債務の履行による支出	—	△3,352
その他	20,762	33,721
小計	△110,931	264,843
利息の受取額	2	2
利息の支払額	△4,633	△5,474
法人所得税等の支払額(△は支払)	△31,222	21,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	△146,784	281,042
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,492	△16,466
無形資産の取得による支出	—	△59,546
敷金及び保証金の差入による支出	△10,001	△7,091
敷金及び保証金の回収による収入	1,714	5,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,778	△77,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
株式の発行による収入	2,415	8,290
自己株式の取得による支出	—	△22
リース負債の返済による支出	△156,467	△153,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,948	△204,823
現金及び現金同等物の増減額	△99,615	△1,202
現金及び現金同等物の期首残高	280,562	364,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	180,947	363,739

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

基準書	基準名	改訂の内容
IFRS第16号	リース	新型コロナウイルス感染症に関連した2021年6月30日以降の賃料減免の会計処理の改訂

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントであります。

当社は業績評価に使用する区分として、事業の種類別に「ネイル事業」及び「メディア事業」の2つを報告セグメントとしております。ネイル事業は、店舗でのネイル施術等のサービス提供及びネイルケア商品等の販売をしております。メディア事業は、ネイルサロンの店舗網を活かし、企業等に対し、広告サービスを提供しております。セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。金融収益、金融費用、法人所得税費用は、取締役会が検討するセグメント利益に含まれていないため、セグメント業績から除外しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,119,342	8,933	1,128,275	—	1,128,275
セグメント間の売上収益	1,340	—	1,340	△1,340	—
計	1,120,682	8,933	1,129,615	△1,340	1,128,275
セグメント利益(△は損失)	△293,190	△1,800	△294,990	—	△294,990
金融収益					1,515
金融費用					5,228
税引前四半期利益(△は損失)					△298,703
その他の項目					
減価償却費及び償却費	187,058	—	187,058	—	187,058
減損損失	2,190	—	2,190	—	2,190

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,628,889	11,307	1,640,195	—	1,640,195
セグメント間の売上収益	1,696	—	1,696	△1,696	—
計	1,630,585	11,307	1,641,891	△1,696	1,640,195
セグメント利益(△は損失)	165,823	△1,841	163,982	—	163,982
金融収益					490
金融費用					5,432
税引前四半期利益(△は損失)					159,040
その他の項目					
減価償却費及び償却費	170,155	—	170,155	—	170,155
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり四半期利益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	△298,703	106,262
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,246,863	2,265,468
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△132.94	46.91

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	△298,703	106,262
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,246,863	2,265,468
希薄化後普通株式の加重平均株式数(株)	2,256,750	2,272,265
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△132.94	46.76

(注) 前第3四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の計算から除外しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。